

3 交際相手からの暴力の被害経験

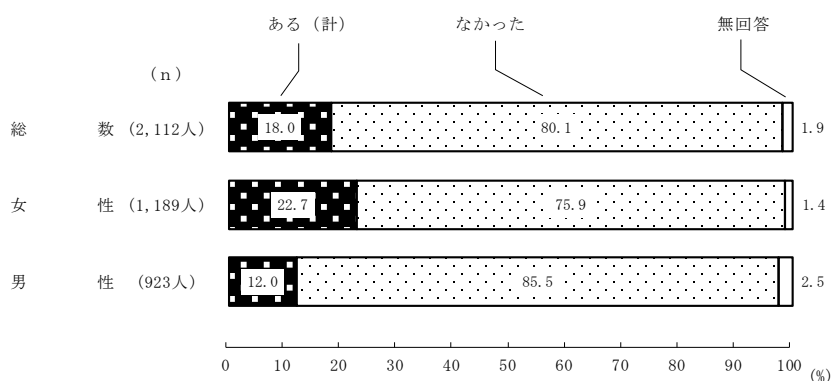
(1) 交際相手からの暴力の被害経験の有無

「交際相手がいた (いる)」という人 (2,112 人) に、「身体的暴行」「心理的攻撃」「経済的圧迫」「性的強要」の4つの行為をあげて、当時の交際相手から被害を受けたことがあるかをそれぞれの行為について聞き、いずれかについて交際相手から被害を受けたことがある人(「10 歳代にあった」、「20 歳代にあった」、「30 歳代以上にあった」のいずれかを回答した人の計)をまとめた。

当時の交際相手から「身体的暴行」「心理的攻撃」「経済的圧迫」「性的強要」のいずれかの被害を受けたことが『ある (計)』が 18.0%で、女性が 22.7%、男性が 12.0%となっている。(図 3-1-1)

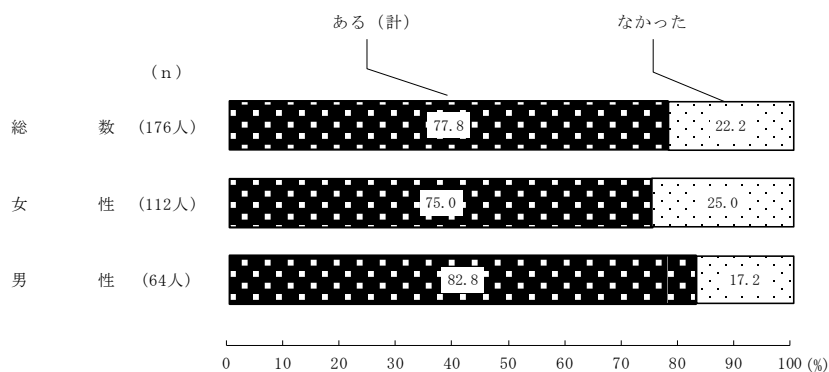
問 16 あなたはこれまでに、交際相手から次のA～Dのようなことをされたことがありますか。A～Dのそれぞれについて、「①交際相手」のあてはまる番号に○をつけてください。また、「①交際相手」と同居した経験(いわゆる「同棲経験」)がある方は、「②同居期間中」についてもお答えください。(○はそれぞれいくつでも)

図 3-1-1 交際相手からの被害経験の有無



交際相手からの被害経験がある人のうち、交際相手と同居した経験(いわゆる「同棲経験」)がある人(176人)に、その同居の際の被害経験を聞いたところ、いずれかの被害を受けたことが『ある (計)』が 77.8%で、女性が 75.0%、男性が 82.8%となっている。(図 3-1-2)

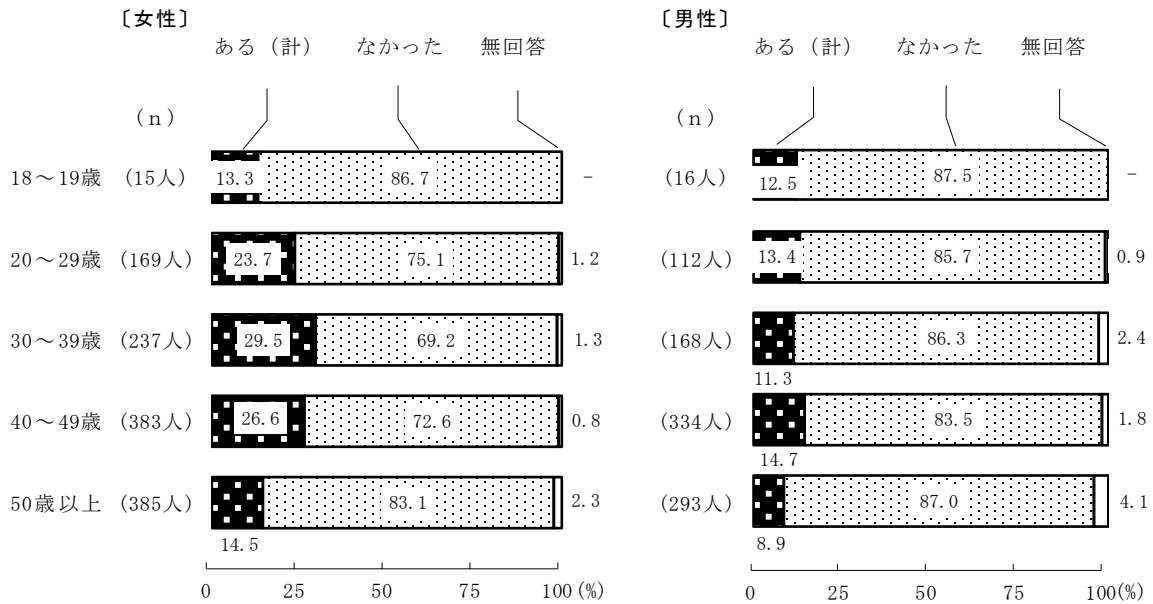
図 3-1-2 交際相手からの被害経験の有無 —②同居期間中—



※「②同居期間中」は、暴力被害があり、かつ交際相手と同居した経験がある人のうち、A「身体的暴行」、B「心理的攻撃」、C「経済的圧迫」、D「性的強要」のいずれかに回答をした人のみ集計しているため、無回答はない。

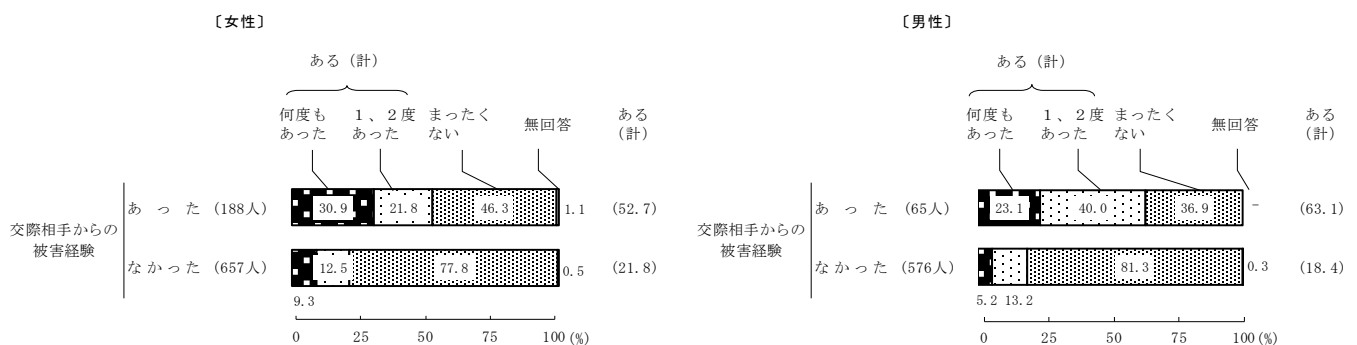
性・年齢階級別にみると、被害経験がある人は女性では30～39歳で29.5%と最も多く、次いで40～49歳が26.6%であった。男性で最も多いのは40～49歳の14.7%だが、49歳以下ではそれほど差は見られない。(図3-1-3)

図3-1-3 交際相手からの被害経験の有無(性・年齢階級別)



交際相手からの被害経験の有無別に、配偶者からの被害経験の有無をみると、交際相手からの被害経験がある人(女性188人、男性65人)では、配偶者からの被害経験もある人が女性は52.7%、男性は63.1%となっているのに対し、交際相手からの被害経験がない人(女性657人、男性576人)では、配偶者からの被害経験がある人が女性は21.8%、男性は18.4%となっている。(図3-1-4)

図3-1-4 配偶者からの被害経験の有無(性・交際相手からの被害経験の有無別)



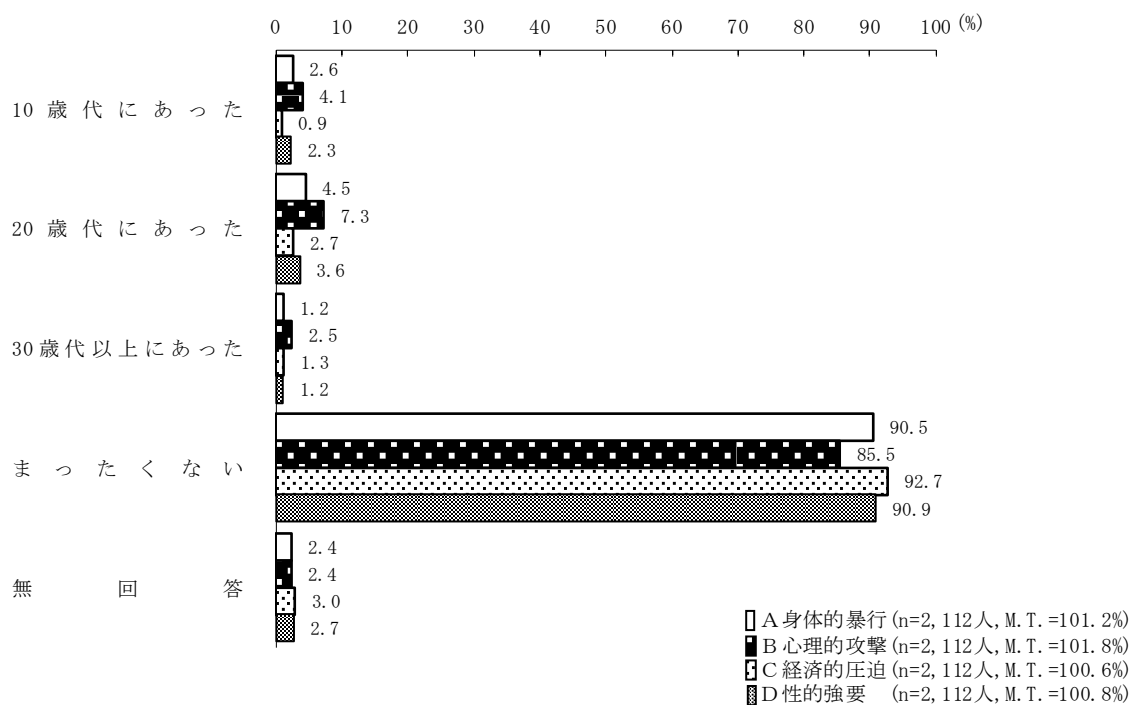
“身体的暴行”“心理的攻撃”“経済的圧迫”“性的強要”のそれぞれをみると、“身体的暴行”は「10歳代にあった」が2.6%、「20歳代にあった」が4.5%、「30歳代以上にあった」が1.2%となっている。

“心理的攻撃”は「10歳代にあった」が4.1%、「20歳代にあった」が7.3%、「30歳代以上にあった」が2.5%となっている。

“経済的圧迫”は「10歳代にあった」が0.9%、「20歳代にあった」が2.7%、「30歳代以上にあった」が1.3%となっている。

“性的強要”は「10歳代にあった」が2.3%、「20歳代にあった」が3.6%、「30歳代以上にあった」が1.2%となっている。(図3-1-5)

図3-1-5 交際相手からの被害経験（複数回答）



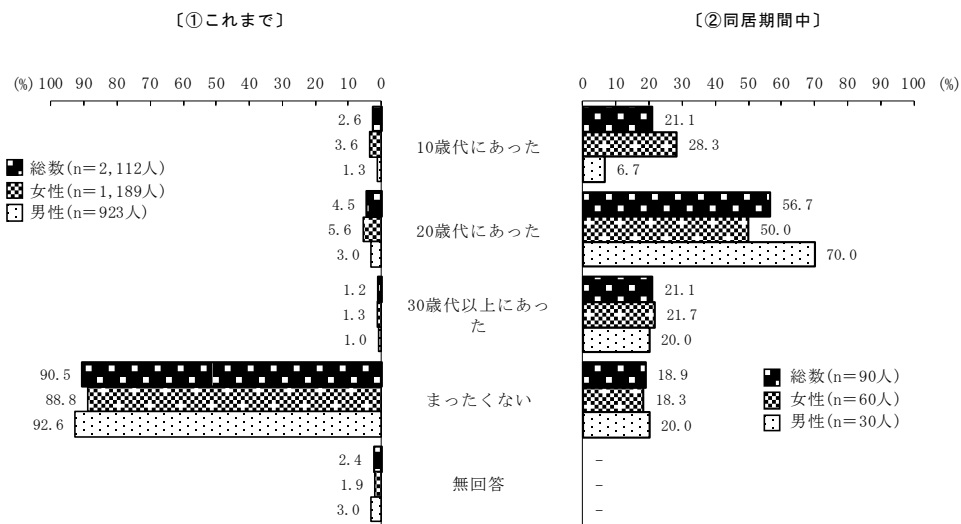
- A なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたり、体をおさえつけたり、首を絞めたりするなどの身体に対する暴行など
- B 人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視・制限したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫など
- C 給料や貯金を勝手に使われる、デート代や生活費を無理やり払わされるなど
- D 嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、同意していないのに性的な画像・動画を撮影される、避妊に協力しないなど

交際相手からの被害経験を性別にみると、いずれの行為についても男性より女性の方が被害経験のある人の割合がやや多くなっており、「10歳代」や「30歳代以上」よりも「20歳代」の方が、被害経験がわずかに多い。

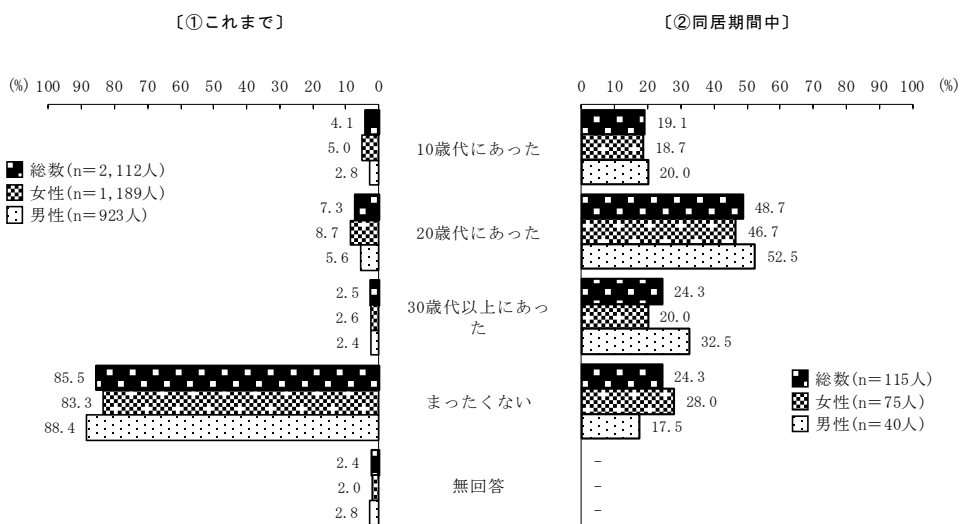
交際相手からの被害経験がある人のうち、同居経験がある人の同居期間中の被害経験をみると、“身体的暴行”は「10歳代にあった」が21.1%、「20歳代にあった」が56.7%、「30歳代以上にあった」が21.1%、“心理的攻撃”は「10歳代にあった」が19.1%、「20歳代にあった」が48.7%、「30歳代以上にあった」が24.3%、“経済的圧迫”は「10歳代にあった」が11.3%、「20歳代にあった」が49.1%、「30歳代以上にあった」が34.0%、“性的強要”は「10歳代にあった」が15.4%、「20歳代にあった」が38.5%、「30歳代以上にあった」が23.1%となっている。(図3-1-6)

図3-1-6 交際相手からの被害経験（性別）（複数回答）

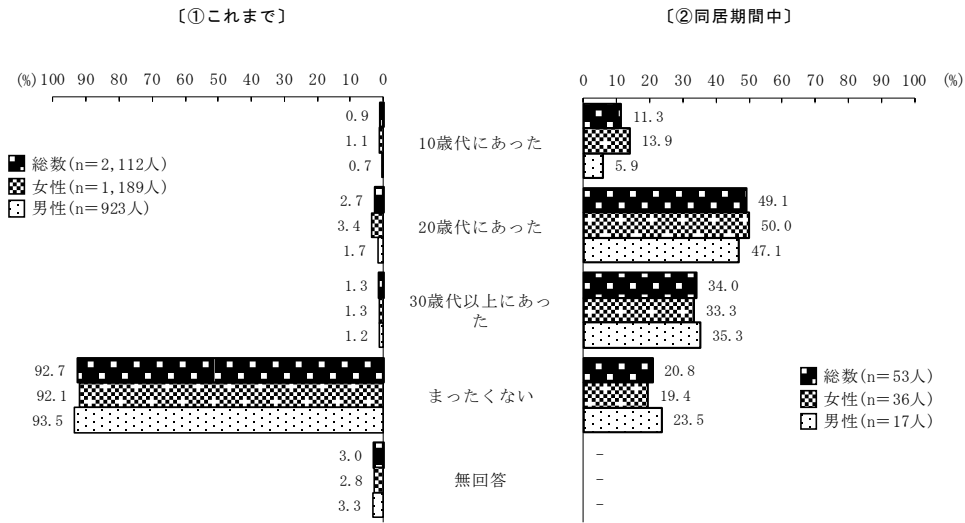
A 身体的暴行



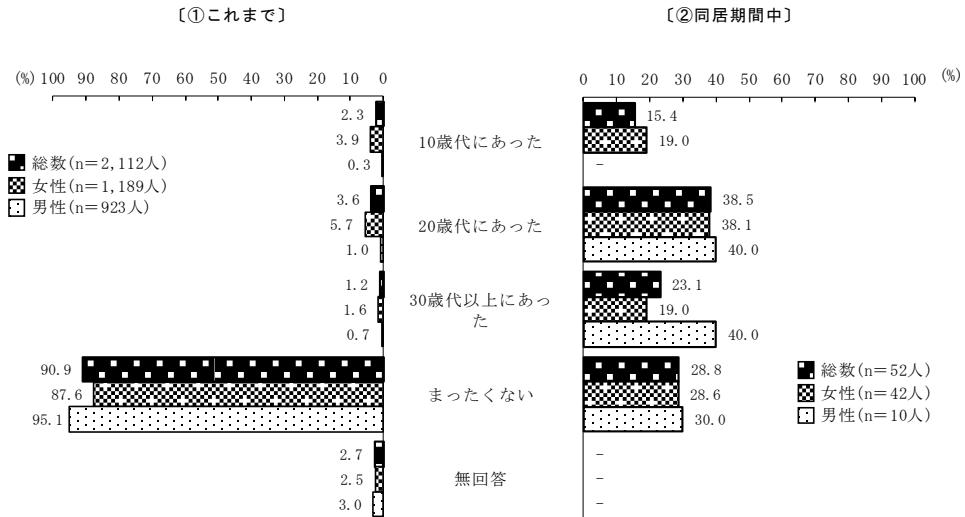
B 心理的攻撃



C 経済的圧迫



D 性的強要



※「②同居期間中」は、暴力被害があり、かつ交際相手と同居した経験がある人のうち、A“身体的暴行”、B“心理的攻撃”、C“経済的圧迫”、D“性的強要”のいずれかに回答をした人のみ集計しているため、無回答はない。

また、交際相手から何らかの被害を受けたことのある人（381人）に、その交際相手の性別を聞いたところ、「異性」が96.1%、「同性」が1.6%となっている。（表3-1-1）

問16-1 また、その交際相手の性別はどちらでしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

表3-1-1 交際相手の性別（性別）（複数回答）

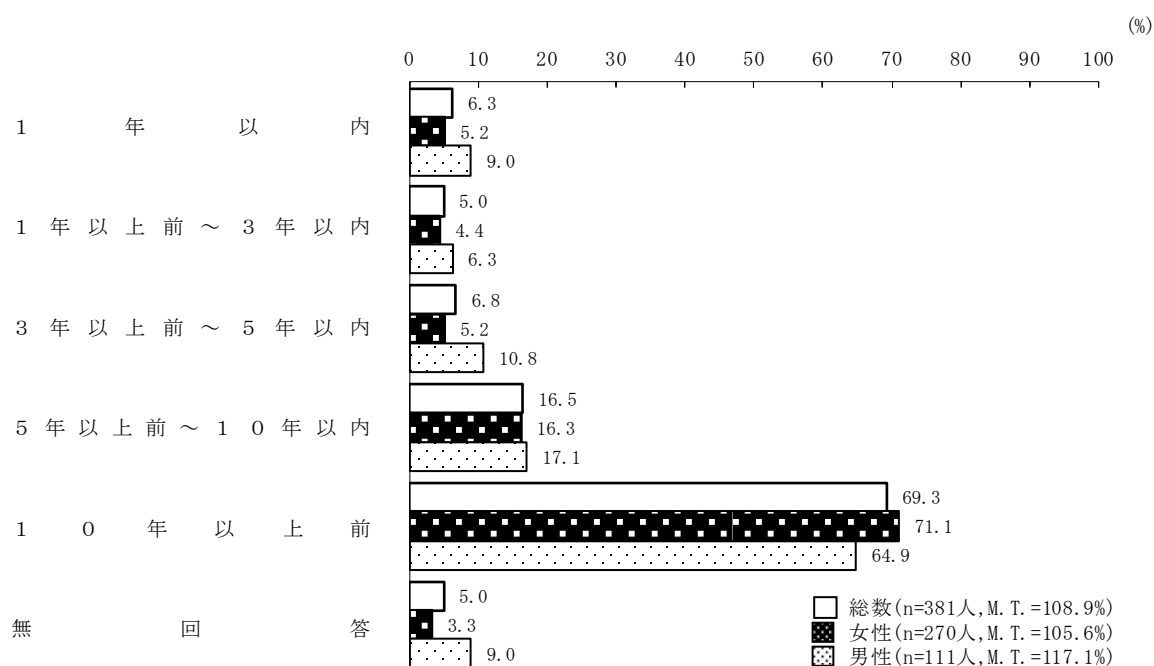
（交際相手からこれまでに被害を受けたことがある人）（%）

	総数	女	男
n	381	270	111
異性	96.1	97.0	93.7
同性	1.6	1.9	0.9
無回答	2.4	1.1	5.4

さらに、交際相手から何らかの被害を受けたことのある人（381人）に、その被害にあったのは何年前か聞いたところ、「10年以上前」が69.3%と最も多く、次いで「5年以上前～10年以内」（16.5%）、「3年以上前～5年以内」（6.8%）、「1年以内」（6.3%）、「1年以上前～3年以内」（5.0%）となっている。（図3-1-7）

問16-2 さらに、その交際相手から、問16で回答した被害にあったのは、何年前ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図3-1-7 被害にあった時期（何年前・複数回答）



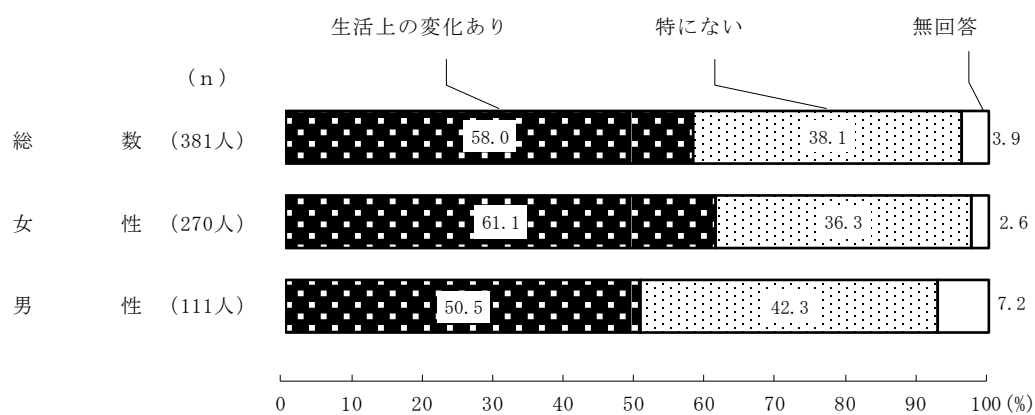
(2) 生活上の変化

交際相手から何らかの被害を受けたことのある人（381人）に、被害によって引き起こされた生活上の変化を聞き、何らかの変化があったと回答した人を『生活上の変化あり』としてまとめた。

『生活上の変化あり』は58.0%で、女性が61.1%、男性が50.5%となっている。（図3-2-1）

問17 あなたはこれまでに、交際相手から受けたそのような行為によって、生活が変わりましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図3-2-1 交際相手からの被害による生活上の変化の有無



生活上の変化の内容をみると、「自分に自信がなくなった」(27.0%)が最も多く、次いで「夜、眠れなくなった」(15.0%)、「心身に不調をきたした」(15.0%)、「生きているのが嫌になった・死にたくなかった」(11.8%)、「誰のことも信じられなくなった」(11.5%)などとなっている。

性別にみると、男女とも「自分に自信がなくなった」(女性28.9%、男性22.5%)が最も多く、女性は「心身に不調をきたした」(17.4%)が、男性は「夜、眠れなくなった」(15.3%)が次に多い。

(図 3-2-2)

図 3-2-2 交際相手からの被害による生活上の変化（複数回答）



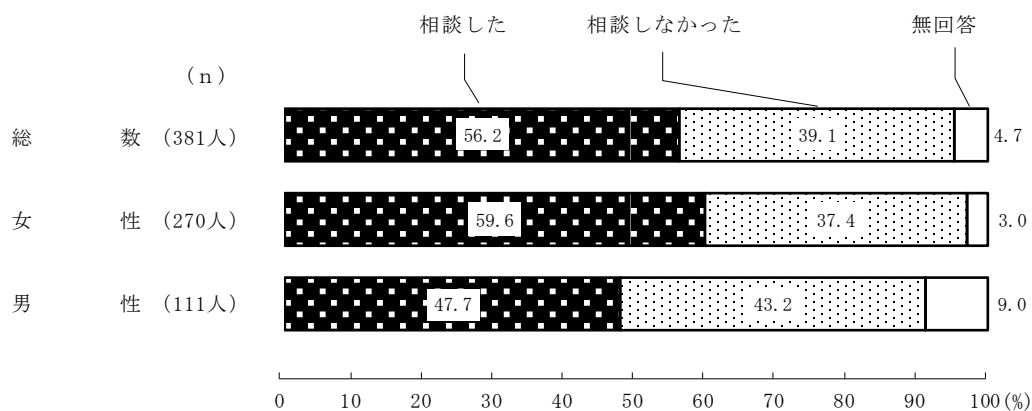
(3) 交際相手からの暴力の相談経験

交際相手から何らかの被害を受けたことがある人（381人）に、被害の状況について、だれかに打ち明けたり、相談したりしたかを聞き、いずれかの相談先を回答した人の合計を『相談した』にまとめた。

『相談した』は56.2%であり、女性が59.6%、男性が47.7%となっている。（図3-3-1）

問18 あなたはこれまでに、交際相手から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

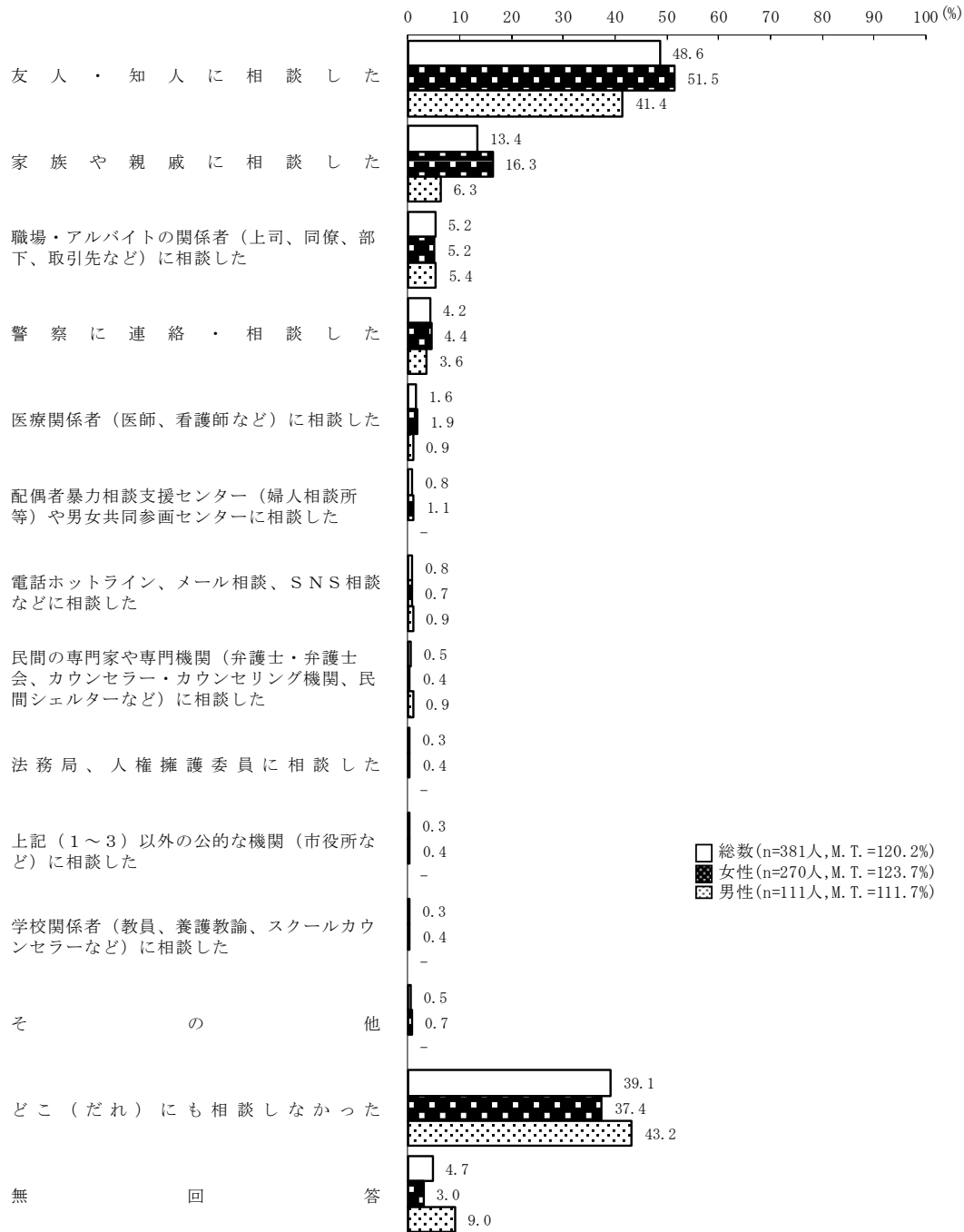
図3-3-1 交際相手からの暴力の相談の有無



相談先をみると、「友人・知人に相談した」が48.6%と最も多く、次いで「家族や親戚に相談した」(13.4%) などとなっている。

性別にみても、男女とも「友人・知人に相談した」(女性51.5%、男性41.4%) が最も多くなっている。(図3-3-2)

図3-3-2 交際相手からの暴力の相談先(複数回答)



*「上記(1~3)以外の公的な機関」とは、下記以外の公的な機関を指す。

1. 配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所等)や男女共同参画センター
2. 警察
3. 法務局、人権擁護委員

(4) 相談しなかった理由

交際相手から受けた被害について、「どこ（だれ）にも相談しなかった」という人（149人）に、相談しなかった理由を聞いたところ、「相談するほどのことではないと思ったから」が45.6%と最も多く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」が23.5%、「相談してもむだだと思ったから」が22.1%となっている。

性別にみると、男女ともに「相談するほどのことではないと思ったから」（女性38.6%、男性60.4%）が最も多く、女性は「相談してもむだだと思ったから」（23.8%）が、男性は「自分にも悪いところがあると思ったから」（25.0%）が次に多くなっている。（図3-4-1）

問19 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図3-4-1 相談しなかった理由（複数回答）



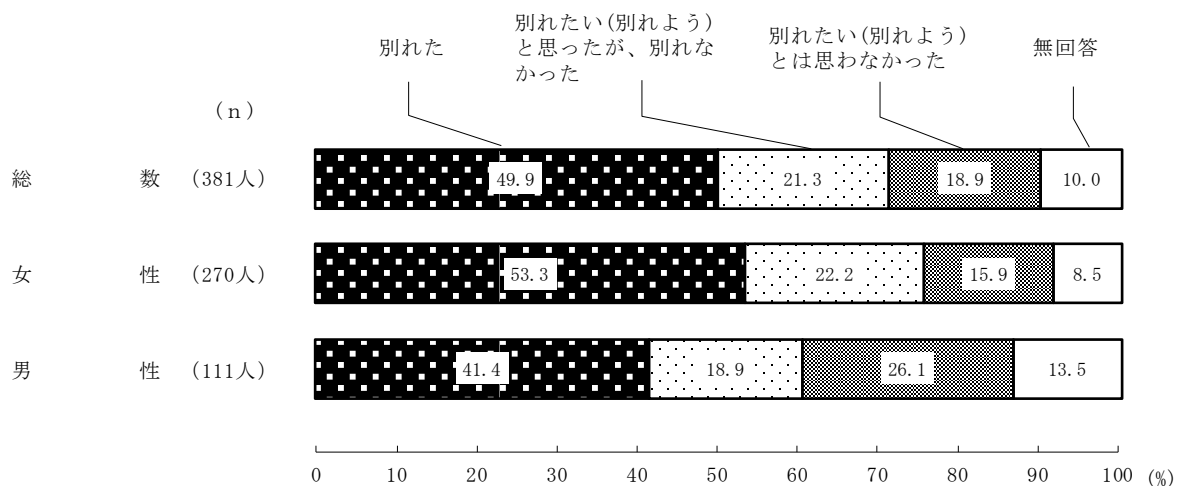
(5) 交際相手から被害を受けたときの行動

交際相手から何らかの被害を受けたことがある人（381人）に、その行為を受けたとき、相手との関係をどうしたのか聞いたところ、「別れた」が49.9%で、「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」が21.3%、「別れたい（別れよう）とは思わなかった」が18.9%となっている。

性別にみると、女性は「別れた」が53.3%で半数強を占め、「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」という人は22.2%となっている。一方、男性は「別れた」が41.4%と約4割で、「別れたい（別れよう）とは思わなかった」という人が26.1%となっている。（図3-5-1）

問20 あなたは、交際相手からそのような行為を受けたとき、どうしましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図3-5-1 交際相手から被害を受けたときの行動

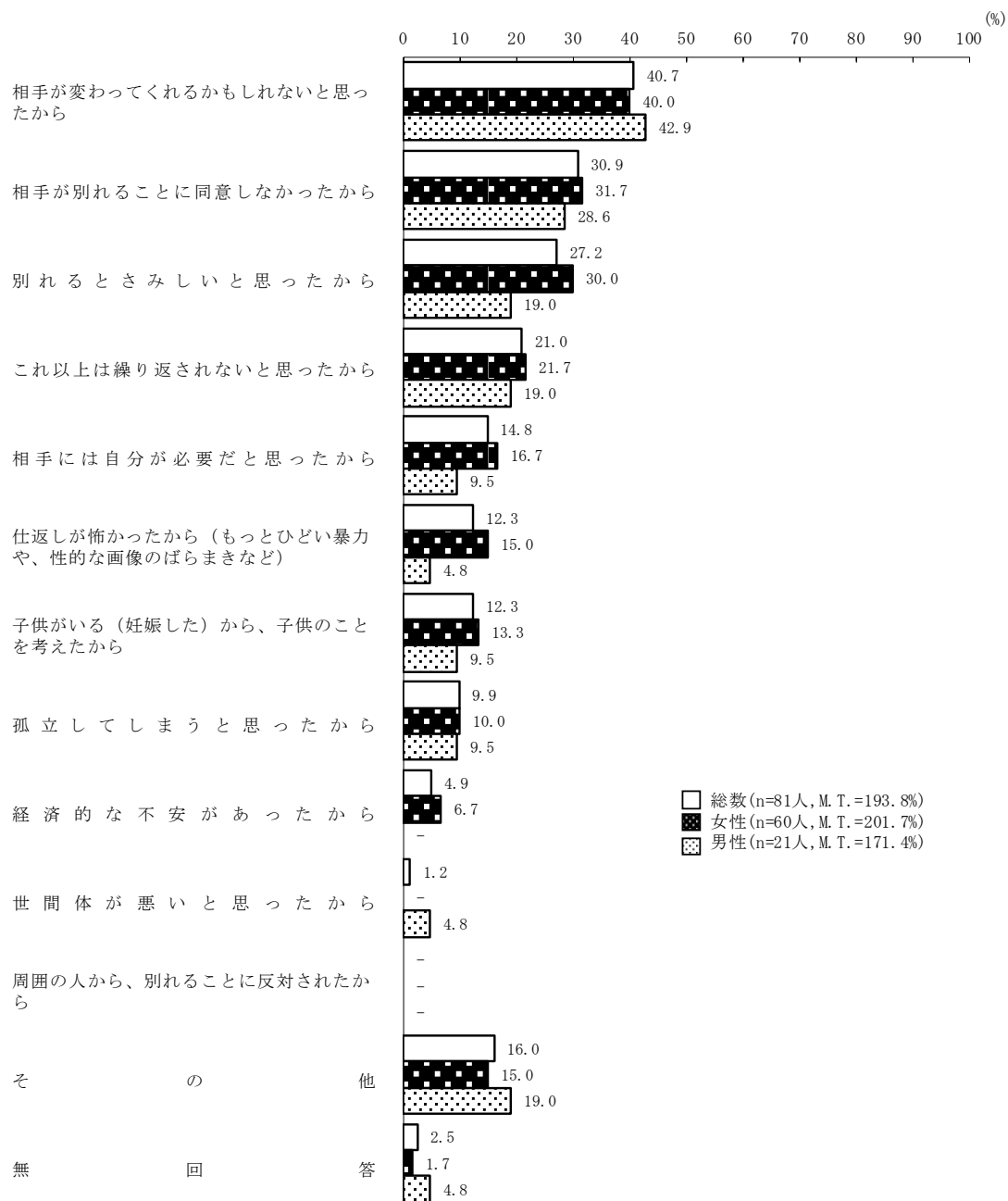


(6) 交際相手と別れなかった理由

交際相手から何らかの被害を受けたとき、相手と「別れたい（別れよう）」と思ったが、別れなかった」という人（81人）に、別れなかった理由を聞いたところ、「相手が変わってくれるかもしれないと思ったから」が40.7%と最も多く、次いで「相手が別れることに同意しなかったから」が30.9%、「別れるときみしいと思ったから」が27.2%などとなっている。（図3-6-1）

問21 あなたが、交際相手と別れなかった理由は何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図3-6-1 交際相手と別れなかった理由（複数回答）

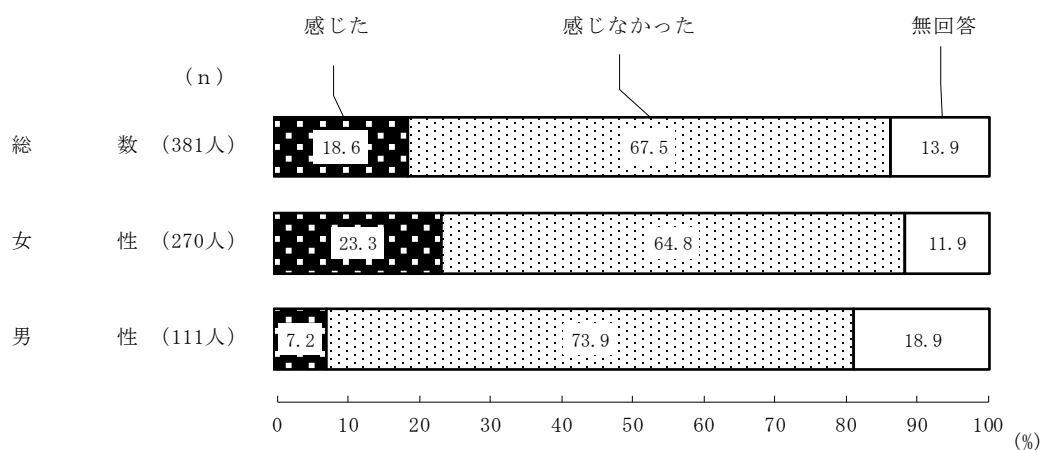


(7) 命の危険を感じた経験

交際相手から何らかの被害を受けたことのある人（381人）に、その行為によって、命の危険を感じたことがあるかを聞いたところ、命の危険を「感じた」は18.6%であり、女性が23.3%、男性が7.2%となっている。（図3-7-1）

問22 あなたはこれまでに、交際相手から受けたそのような行為によって、命の危険を感じたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

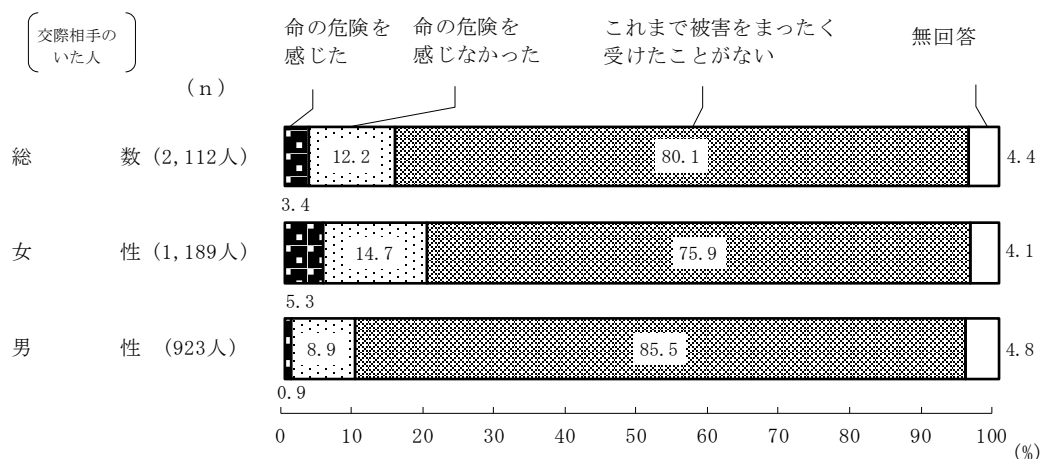
図3-7-1 命の危険を感じた経験



交際相手からの被害を受けたことがない人も含めて、「交際相手がいた（いる）」という人（2,112人）でみると、命の危険を「感じた」という人は3.4%で、女性が5.3%、男性が0.9%となっている。

（図3-7-2）

図3-7-2 命の危険を感じた経験（全体ベース）



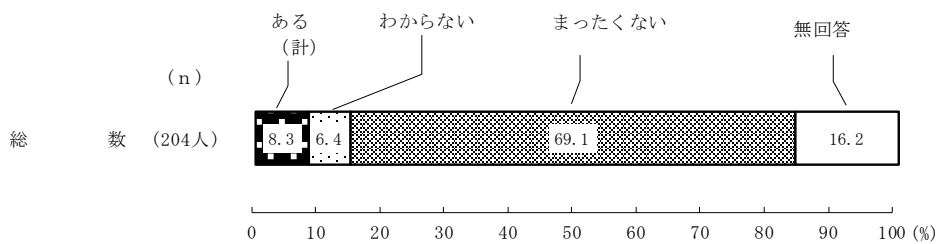
(8) 子供の被害経験

これまでに交際相手から被害を受けたことがあり、子供がいる人（204人）に、子供が18歳になるまでの間に交際相手から被害を受けたことがあるかを聞き、何らかの被害経験を回答した人の計を『ある（計）』としてまとめた。

『ある（計）』は8.3%となっている。（図3-8-1）

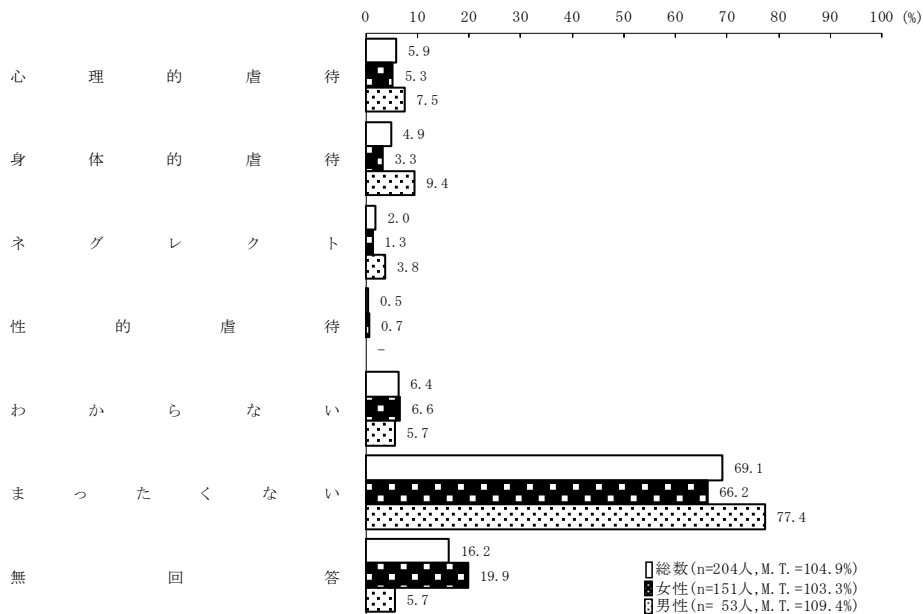
【子供がいるすべての方にお聞きします】
 問23 あなたの子供は18歳になるまでの間に、交際相手から次のようなことをされたことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図3-8-1 子供の被害経験の有無



子供の被害経験の内容をみると、最も多かった「心理的虐待」が5.9%、次いで「身体的虐待」(4.9%)などとなっている。（図3-8-2）

図3-8-2 子供の被害経験（複数回答）



身体的虐待…例えば、なぐる、ける、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束する、長時間外に放置するなど

性的虐待…例えば、子供への性的行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、性的な画像・動画の被写体にするなど

ネグレクト…例えば、家に閉じ込める、登園・登校させない、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

心理的虐待…例えば、言葉による脅し、無視、兄弟姉妹間での差別的扱い、子供の目の前であなたや家族に対して暴力をふるう、兄弟姉妹に虐待行為を行うなど